

7 がっひかりごう

令和3年7月1日 輝保育園

7月に入り、子ども達が楽しみにしている水遊びやプールが始まります。1才、2オクルスは、水に慣れ、水と仲良くなること、3才以上児は、友達と楽しさを共有する経験や、水の怖さ、約束を守る大切さを知ってほしいと考えています。暑さと活動量が増える事で体力が消耗します。ご家庭での健康管理をお願いします。

【【七夕】】

どうして短冊に願い事を書くの？

昔の人が、織物の上手な織姫のように(織姫にあやかって)、「物が上達しますように」と、お願い事をしたのが始まりだと言われています。

笹の葉に飾ると、織姫と彦星の力で願いが叶えられたり、皆を悪いものから守ってくれるという言い伝えがあるのだそうです。



=== ナース・レポート ===

【冷えピタシートに気をつけて】

冷えピタ系の熱さまし用冷却ジェルシート、発熱時に必須と思っている方はいらっしゃると思いますが、残念ながら解熱効果はありません。

公式のホームページにも「熱を下げるための医薬品ではなく、この製品はジェルに含まれる水分が熱を吸って蒸発し、貼った部分の皮膚の温度を約2℃下げる製品です。濡れタオルと同じような仕組みとお考えください。」と記載されています。

2004年には生後4カ月の乳児に使用し、冷却シートが剥がれた際に、口と鼻をふさぐ形となり、低酸素性虚血性脳症となってしまう痛ましい事故が発生しています。

冷たくて気持ちいいと本人が希望するなら使ってもいいと思いますが、自分の手で払いのけることの出来ない乳児への使用はやめましょう。

また、かぶれなどが見られることもあります。

以上のことから貼付型冷却剤を使用する場合は安易に使うのではなく、その特性や限界を理解して利用しましょう。

《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認して下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ テレビ、スマホに 子守りをさせないで ☆☆

こどもとスマホに係る他の記事です。

- 親と子のコミュニケーション時間が減ってしまいます。これにより、親と目を合わせなくなったり、会話をしなくなったりする子どももいるといえます。
- わずか生後8カ月の子どもでも、スマホを与えると指で画面をスクロールする動作を覚えるといわれています。

こうして幼いうちからスマホに慣れ親しむことで、本や雑誌の紙をめくるといった動作が苦手になるのではという懸念もされています。

- スマホばかりを見て会話をする機会が減ると、言語の発達も遅くなるとされています。

まだ意味のある単語を口にさせない幼い子どもでも、親からの呼びかけなどによって言葉を理解し学んでいきます。

しかし、スマホばかりを見て親からの呼びかけの機会が少なくなると、言語をうまく学ぶことができず、発達に遅れが生じるおそれにつながります。

- 幼児期の子どもにもスマホ子守りをする事で、思春期や成人後の人間性にも影響が及ぶのではと心配されています。

たとえば、スマホ依存になり大人になってもスマホがないと不安やイライラが募るようになるという懸念です。

また、スマホばかり見ること視力が低下するだけでなく、体を動かす機会が減って運動不足になる可能性があるという心配もあります。

【(株)セルテクノロジー】のホームページより抜粋

こども の よう す

たんぽぽぐみ
0才児



朝のおやつの前にお集まりを始めました。歌が好きなお友だちが多く、朝のお集まりのときに毎日楽しく歌っています。「むすんでひらいて」、「てをたたきましょう」、「かえるのうた」、「きらきら星」の歌がピアノの音で聞こえてくると、手を叩いたり、手を振ったり、手を上に伸ばしたり、左右に体を揺らしたりと笑顔の姿があります。名前呼びでは、手を挙げたり、名前を呼ばれると保育士の顔を見たり、目が合うと笑顔になったりとみんな楽しそうに参加しています。絵本に興味を示しているお友だちも多く、棚から絵本を握り保育士の元に持ってきて「読んで」と言うかのように渡します。読み始めると、座り、絵本を真剣に見る姿も見られます。興味を示している気持ちを大切に、子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしていきます。

たんぽぽぐみ
1才児



高月齢の子たちは靴や靴下を履くなど、少し難しいことにもチャレンジしようとするが増え少しずつ上達しています。低月齢の子たちも自分で帽子を被ろうとしたり、靴を脱ぐことにチャレンジしたりしています。やってみようという気持ちになった時が上達するときです。出来ないときは一緒にしたり、方法を知らせるようにしたりしています。繰り返しチャレンジすることで、少しずつ自分でできるが増え、更なるやる気に繋がっています。戸外遊びでは、滑り台の側面の壁から登ったり、鉄棒にぶら下がったり、追いかっこをしたりと、とても活発に遊んでいます。活動範囲が広がり、危険も増えます。いろいろな経験の中で、体の使い方や身の守り方を身に付けられるよう、近くで見守り、声掛けしていきます。

すみれぐみ
2才児



6月は、色水遊びを楽しみました。色とりどりの水を見て大喜びの子どもたちは、色水を様々なジュースに見立て、保育士と、言葉のやり取りを楽しんだり、色と色を混ぜ合わせると、色が変化することに驚き、目を丸くし、歓声をあげ楽しんでいました。7月からは、プールも始まります。水の心地良さを感じながら、暑い夏を元気に過ごしてほしいと願っています。また、少しずつ周囲へ関心を持つようになり、友だちとの関わりも見られるようになりました。2才児は、人間関係を築く第一歩を踏み出す時期です。まだまだ、相手の気持ちを考える行動することは難しいですが、これから友だちとの関わりを通し、保育士を仲立ちとしながら、社会性を身に付け、友だちの存在や思いに気づき、一緒に遊ぶ楽しさを経験していきます。

ちゅうりっぷぐみ
3才児



協調性を伸ばし楽しさを共有を味わうことを目的として、バラバルーンを取り入れた活動を行っています。ある日、こども達の予測する力をみるため、バルーンにボールをのせ「このボールはどうなると思う？」と尋ねてみました。「分からない」と答える子がほとんどでしたが、ある男の子は一生懸命考え「動くと思う」と自分なりの考えを導き出しました。考える習慣が身につけている事、更に、今までの経験から必要な知識を選択し、活かしている事が窺えます。実際にやってみると男の子が考えた通りになり、驚きと喜びをみんなで共有し、楽しい時間となりました。今月から、プール活動を計画しています。朝、お家で排便を済ませてくことや体をしっかり休めること、自分で着脱を頑張ることをお話しています。

ばらぐみ
4才児



先月は、水遊びをしました。水をかけ合ったり、タライから様々な容器に水を入れかえたりしながら、楽しい日々を過ごす事が出来ました。タオルの準備等、ご協力頂きありがとうございました。農協からトマトの苗を頂き、栽培しています。先日、水やりをしている際、トマトが実っている事に気が付きました。一人の子が熟す前のトマトを見て、「緑色だから砂糖入ってないね」と言いました。保育者が「赤色に早く変身するといいいね」と言うと、その子は「赤色になったら甘くなるよ！」と嬉しそうにしていました。その後もいくつか実っているか数えたり、大きさや形を比較したりと観察しています。野菜を育てる際に花が咲く、実る、収穫する、枯れるという過程に触れることで、生き物を大切に育てる心の成長を願いながら今後も取り組んでいきます。

ひまわりぐみ
5才児



5月に植えた野菜が実り始め、「わあ、大きい」などと言いながら自分達で育てた野菜を大切に収穫しています。野菜に遊びにくる小さなカマキリも愛おしそうに捕まえ、水で湿らせた草と一緒に虫かごに入れて観察しています。また、雨上がりに泥んこ遊びをしました。その中で、温泉や川を作りが始めました。温泉に足を突っ込んで指示を出す人、水を集めてくる人、川を長くする人、温泉を深く掘る人など役割分担をして、友だちと協力し合って遊んでいました。しかし、友だちと意見がぶつかり合ったり、後から入ってくる子を受け入れられなかったりしてトラブルになる姿も見られました。保育者は必要以上に仲介せず子ども同士の関わり合いを大切に、遊びを通して相手に関心をもったり、思いやりの心を養ったりしてほしいと願っています。



= 7月の行事予定 =

2日(金) 避難訓練

16日(金) 身体測定・誕生会